

平成 28 年度 日本手術看護学会九州地区鹿児島分会主催
第 19 回周手術期看護研修会報告

平成 28 年 12 月 10 日（土）13：30～16：00

参加者：225 名（会員 42 名、非会員 183 名）

講演『器械だし看護をきわめる』

講師：東京女子医科大学大学院看護学研究科博士後期課程

手術看護認定看護師

古島 幸江（ふるしま さちえ）先生

今回の研修では、①器械だし看護について、教わる側、教える側のそれぞれの立場で学びの多い研修であったことという意見が多かった。②器械だし看護に関する貴重な研修が、地元（鹿児島）で開催されたことに対しては、感謝の言葉を頂いた。③参加者にとって、実践や講師の経験を踏まえた講義に対しては、「エキスパートの具体的な言葉に感動して自信をもらいました。主体的に手術に関わって仕事をしているつもりですが、まだまだ勉強しなくては、と応援してもらった気持ちです。これからも頑張っていきたいと思います」「先生の臨床経験、研究を通して多くの事を学ぶことが出来ました。器械だし看護とは何かを改めて自身の行動を振り返り明日からの業務に活かしていこうと思います」「器械だしを究めるというタイトルで講演の内容がわかりやすく、自分の日々の術中看護について学ぶ方法や思いを深く考えさせられ、多くの事を学ぶことが出来ました」など、研修参加による学びを実践に活かしたいと前向きな意見が多かった。

以上簡単ではありますが、研修報告とさせていただきます。

2016/12/26

日本手術看護学会九州地区鹿児島分会 会長 中堀 恵